

## 活動状況

### 湧別あさり礁環境保全活動組織

湧別のアサリ礁は、平成8年に造成され、母貝移植や種苗の放流で資源づくりが行われて来ました。しかし、猛暑等の影響による大量斃死があり、平成14年以降、水揚げは半減しました。そこで活動組織を立ち上げ、平成22年から北海道環境・生態系保全対策事業を導入し、耕耘、稚貝等の沈着促進に着手しました。その後も継続して、水産多面的機能発揮対策事業により、稚貝等の沈着促進、死貝の除去、モニタリングの保全活動に取り組んでいます。



【広い年齢層で構成されている活動組織】

写真提供湧別漁協

稚貝の沈着促進には、土俵、採石等、様々な基質が使用されましたが、現在では、作業性と設置効果に優れている「ケアシェル」が使用されています。ケアシェルは、貝殻を主成分としており、環境保全にも役立つ基質として、他県での実績があります。

半減したアサリ資源ですが、地元での稚貝沈着・確保による安心で安全な資源の維持・増大を目指し、アサリ礁の環境保全への活動が進められています。



【沈着基質としてケアシェルを使用】



【稚貝等の沈着促進、ケアシェルの設置】



【設置1年後、稚貝沈着状況調査】